





売却講座 ⑬ 『業者の買取り』

- ・とても急いで売却をしたい場合
- ・売却しているが中々買い手が見つからない場合
- ・擁壁の問題や、様々な阻害要因があって個人の方への売却が難しい場合



などなど、こんな場合には
不動産会社や建売会社に買い取ってもらうという方法があります。

最終的にはこの業者買取という手段があるため、
どんな物件でも誰も買ってくれないということはありません。
(例外もあります)

この業者買取り、一般的には相場価格よりも安価になってしまう場合が多い
ですが、以前に比べるとだいぶ高い価格で買い取ってくれる例も増えてきました

前回このコラムで紹介した『立地の魅力度』が高い人気物件では
一般の個人の方が購入するのと同じ価格で買い取ってくれるケースも
今まで何度もありました。



その理由は、以前に比べると、買取業者の数が増えてきていて
業者間で仕入競争がおきているからで
昔は『買取してリノベーションして売却する』というような会社は非常に
少なかったのに、業者さんも安く仕入れができていたが
今では業界も飽和状態で仕入れのノルマもあるため高値がつくよう
になってきたのです。

業者買取の場合、
売主が売った後に物件の保証をいなくてもいいような契約にしておいたり、
契約した後に住宅ローンが通らないうちに解約になってしまうという「ような事」が
無かったりと、メリットも多いです。



高島 陽一の
つぶやき気分
Vol. 131

一年で一番、嫌いな季節

新年度のスタート。気分も新たに...
そんな気分にはれないこの季節。私だけでしょうか
花粉症は酷くなるし、環境変化でルーチンワークが
崩れがち。柏尾川のサクラもあまり良い気分じゃありません。

眺めた記憶がありません。
学生時代を思い出しても、なんだか新しい環境に慣れず、寂しかった記憶ばかり
そんな新年度スタートは心身ともに体調を崩す方が多くなります
『新たな気持ちで頑張ろう!』と前向きな気持ちが自然に起こるのは
とても良いことですが、無理してそういう気分になくてもいいと思います
まずは日常のルーチンワークを取り戻すように
そしていつもよりもゆっくと動くことを意識
今年も私自身、この心構えで乗り切りたいと思います

戸塚区
探検レポート

銀座にて

先日、銀座で人形の作品展をしました。
銀座という土地柄か、たくさんの外国の方が立ち寄ってくれました。
外国の方は作品を見て
「これは何を表現しているの?」「作者の思いや作品のエピソードは?」
とよく聞かれました。
「かわいいね」「すてきね」と感想を伝えてくれても、
日本の方から、その作者の作品で表現したい「思い」に
興味を示されたことは、あまりありませんでした。
人形を見た時、外国の方は「作品が表現する作者の思い」
日本の方は「自分が見た感想」なんだなと、初めて感じました。
フランス人の方は、連獅子の人形(髪は赤い歌舞伎の人形)を見て
「これはなに? デビッドボウイみたい!」と気に入って、購入下さいました。
30年以上前に作られた連獅子が、海外へと飛び立つ瞬間でした。

